

平成14年度 第1回
受注登録企業動向調査結果報告書

(平成14年6月末現在)

財団法人 京都産業21

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業の受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせんの円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300企業

業種別内訳（産業分類 中分類）

鉄鋼・非鉄関係	30企業	金属製品関係	45企業
一般機器関係	45企業	電気機器関係	45企業
輸送用機器関係	30企業	精密機器関係	30企業
縫製関係	45企業	樹脂製品関係	30企業

(3) 調査時点

平成14年6月30日現在

（前回調査時点 平成14年3月31日）

(4) 調査方法

調査票（別紙様式）の郵送によるアンケート方式

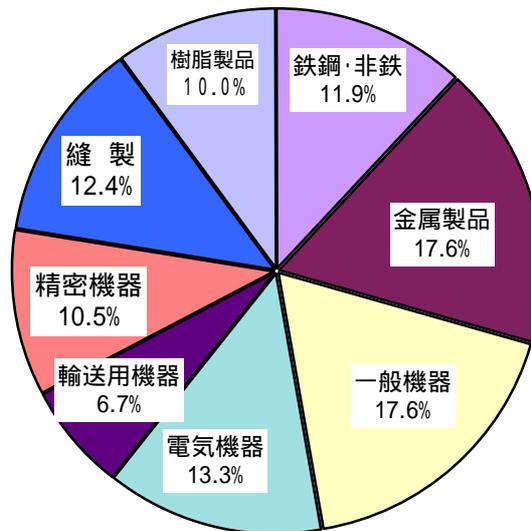
調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）

(5) 回収状況

調査対象企業数	300企業		
回収企業	210企業		
内訳	鉄鋼・非鉄関係	25企業	(11.9%)
	金属製品関係	37企業	(17.6%)
	一般機器関係	37企業	(17.6%)
	電気機器関係	28企業	(13.3%)
	輸送用機器関係	14企業	(6.7%)
	精密機器関係	22企業	(10.5%)
	縫製関係	26企業	(12.4%)
	樹脂製品関係	21企業	(10.0%)
回収率	70.0%		

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位:社)

	全体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	縫製	樹脂製品
個人	24 11.4%	2 8.0%	0 0.0%	2 5.4%	3 10.7%	1 7.1%	1 4.5%	11 42.3%	4 19.0%
~300万円	23 11.0%	3 12.0%	3 8.1%	2 5.4%	5 17.9%	0 0.0%	3 13.6%	6 23.1%	1 4.8%
301~999万円	15 7.1%	1 4.0%	3 8.1%	1 2.7%	2 7.1%	2 14.3%	1 4.5%	2 7.7%	3 14.3%
1,000~2,000万円	111 52.9%	9 36.0%	26 70.3%	24 64.9%	15 53.6%	10 71.4%	10 45.5%	7 26.9%	10 47.6%
2,001~5,000万円	31 14.8%	7 28.0%	5 13.5%	7 18.9%	3 10.7%	1 7.1%	5 22.7%	0 0.0%	3 14.3%
5,000万円超	6 2.9%	3 12.0%	0 0.0%	1 2.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 9.1%	0 0.0%	0 0.0%
合計	210 100%	25 100%	37 100%	37 100%	28 100%	14 100%	22 100%	26 100%	21 100%

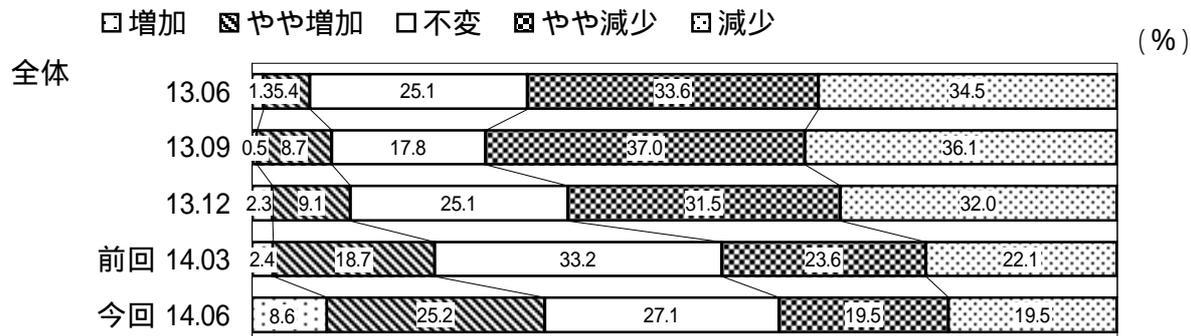
(3) 業種別・従業員別回答企業数

(単位:社)

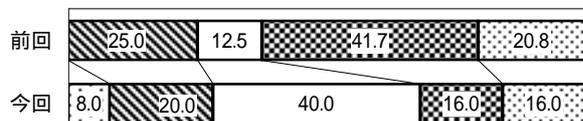
	全体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	縫製	樹脂製品
1~5人	37 17.6%	4 16.0%	0 0.0%	4 10.8%	5 17.9%	4 28.6%	3 13.6%	11 42.3%	6 28.6%
6~10人	40 19.0%	6 24.0%	8 21.6%	10 27.0%	3 10.7%	1 7.1%	2 9.1%	6 23.1%	4 19.0%
11~20人	55 26.2%	5 20.0%	17 45.9%	9 24.3%	3 10.7%	3 21.4%	7 31.8%	8 30.8%	3 14.3%
21~30人	31 14.8%	4 16.0%	8 21.6%	7 18.9%	7 25.0%	2 14.3%	1 4.5%	0 0.0%	2 9.5%
31~50人	23 11.0%	3 12.0%	3 8.1%	4 10.8%	3 10.7%	3 21.4%	3 13.6%	1 3.8%	3 14.3%
51人以上	24 11.4%	3 12.0%	1 2.7%	3 8.1%	7 25.0%	1 7.1%	6 27.3%	0 0.0%	3 14.3%
合計	210 100%	25 100%	37 100%	37 100%	28 100%	14 100%	22 100%	26 100%	21 100%

3. 調査結果

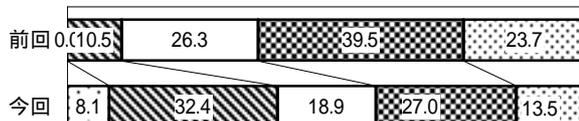
(1) 受注量について



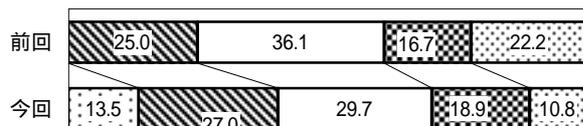
鉄鋼・非鉄



金属製品



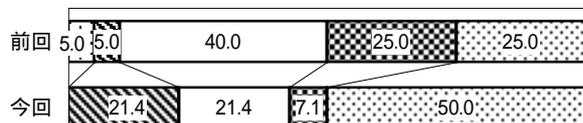
一般機器



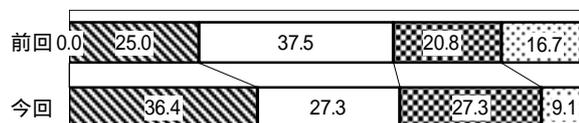
電気機器



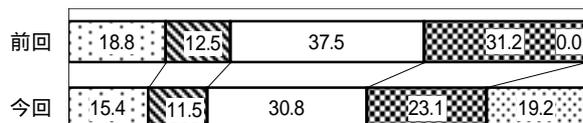
輸送用機器



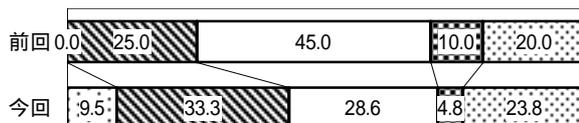
精密機器



縫製



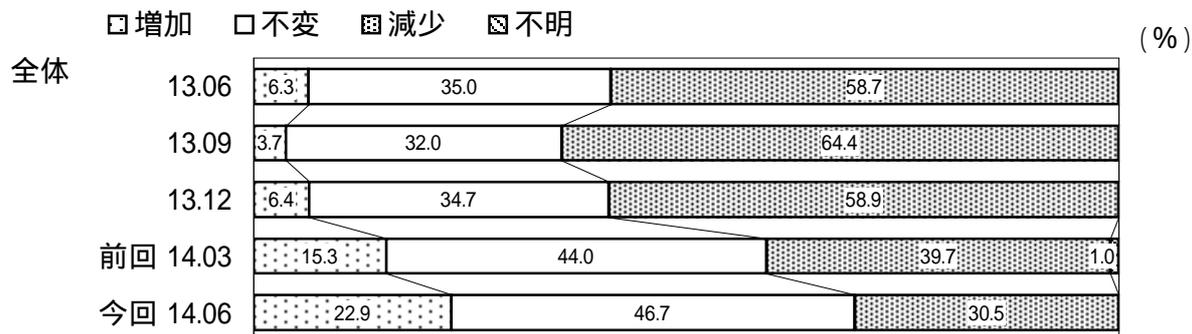
樹脂製品



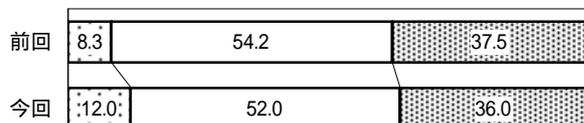
・全体では、「増えた」（増加又はやや増加）とする企業が33.8%で前回調査と比較して12.7ポイント増加し、「減った」（減少又はやや減少）とする企業は39.0%で、前回調査と比較して6.7ポイント減少している。依然として「減った」とする企業が「増えた」とする企業を上回っているものの、回復傾向を示している。

・業種別に見ると、金属製品、一般機器、精密機器、樹脂製品で回復傾向が見られる一方で、電気機器、輸送用機器では5割以上が「減った」と回答しており、業種間でのバラツキが見られる。

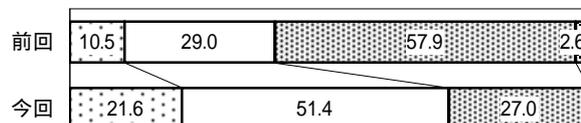
(2) 受注量の見通しについて



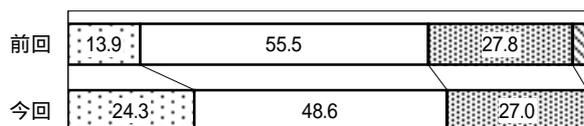
鉄鋼・非鉄



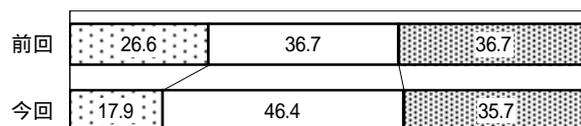
金属製品



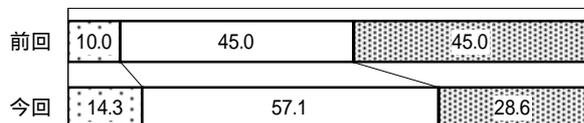
一般機器



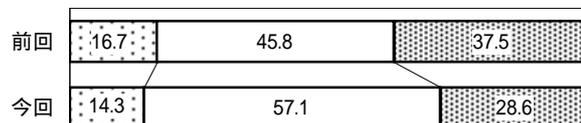
電気機器



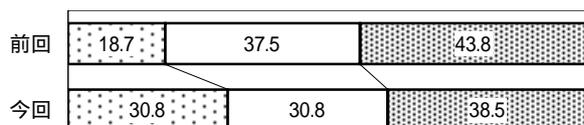
輸送用機器



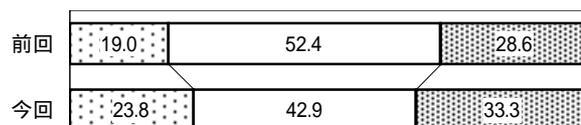
精密機器



縫製



樹脂製品

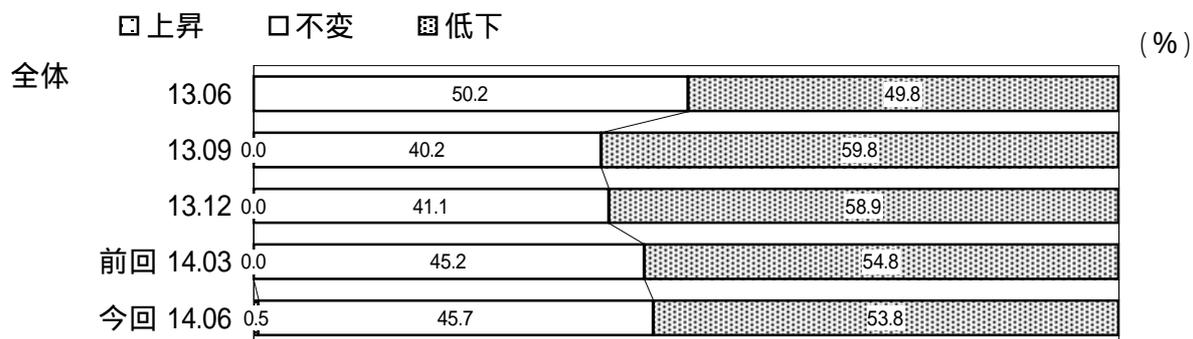


・全体では、「増加」とする企業が22.9%で前回調査に比べて7.6ポイント増加している。

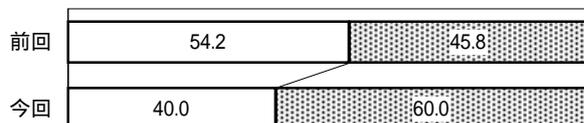
また、「不変」が5割近くを占めているものの、「減少」とする企業は、30.5%で10.2ポイント減少しており、慎重な見通しが支配的であるが、やや明るさも見られる。

・業種別に見ると、全業種で「減少」とする企業が「増加」とする企業を上回っており、先行き慎重な見通しとなっているが、金属製品では、減少が前回の半数以下となっているなど、前回と比較して、「増加」が増え、「減少」が減っている業種が多くなっている。

(3) 受注単価について



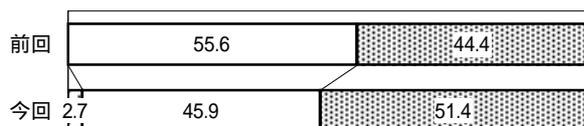
鉄鋼・非鉄



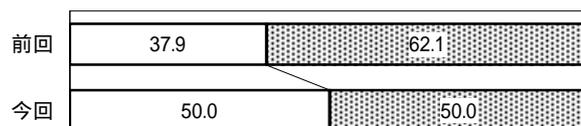
金属製品



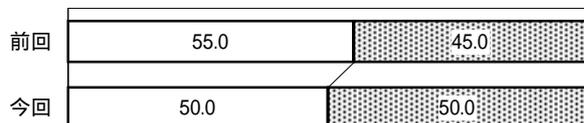
一般機器



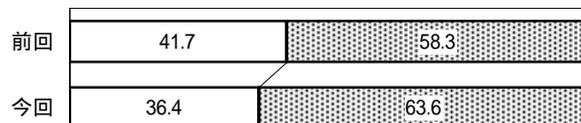
電気機器



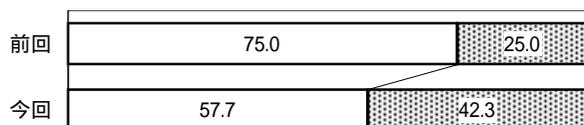
輸送用機器



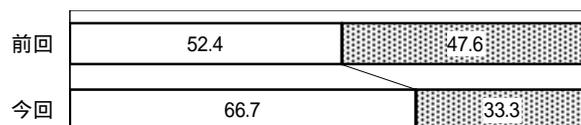
精密機器



縫製



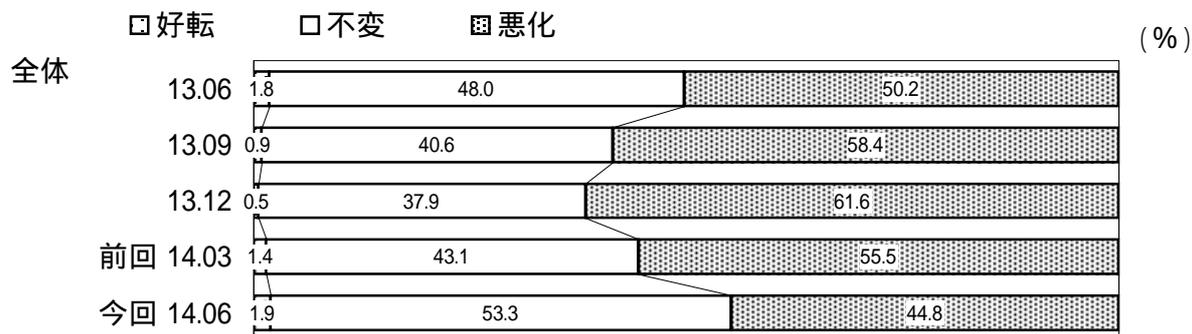
樹脂製品



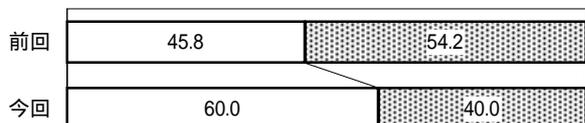
・全体的には、「低下」が53.8%と依然として厳しく、前回と殆ど変化は見られない。単価の下げ止まりの兆しは見られない。

・業種別に見ると、金属製品、電気機器、樹脂製品では、前回調査と比較して、低下の割合が減少しているが、それ以外では前回調査に比べて「低下」が増加し、厳しい状況が続いている。

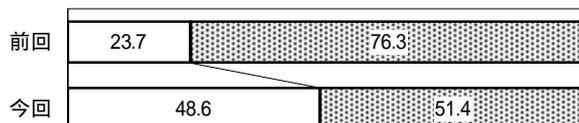
(4) 資金繰りについて



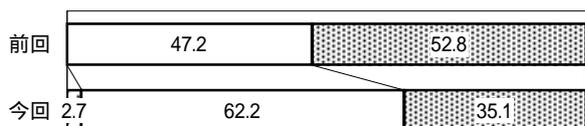
鉄鋼・非鉄



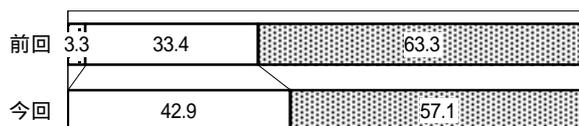
金属製品



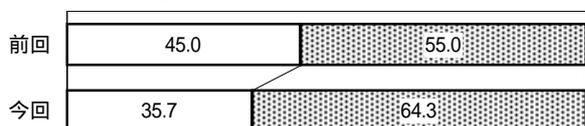
一般機器



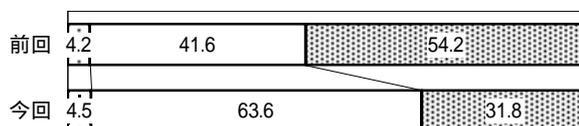
電気機器



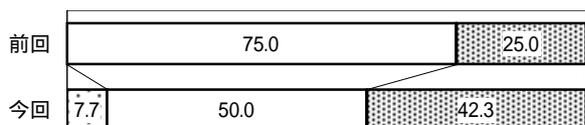
輸送用機器



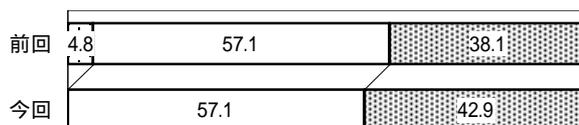
精密機器



縫製



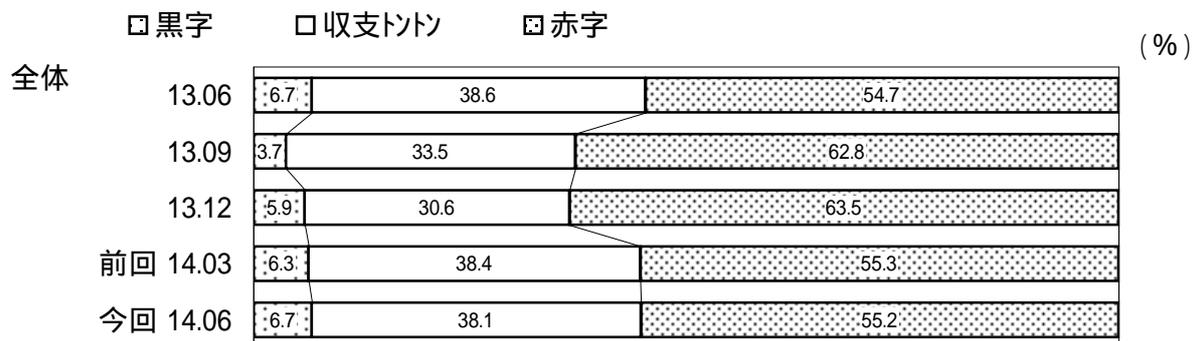
樹脂製品



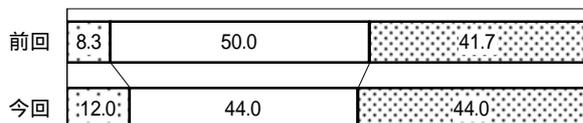
・全体では、「好転」とする企業は僅か1.9%しか見られず、「悪化」とする企業が44.8%で「悪化」が「好転」を大幅に上回っている。前回調査に比べると「悪化」が10.7ポイント減少しているが、「不変」が5割以上を占めており、依然厳しい状況がうかがわれる。

・業種別に見ると、鉄鋼・非鉄、金属製品、一般機器、電気機器、精密機器では「悪化」が減少しているが、輸送用機器、縫製、樹脂製品では「悪化」が増加しており、業種間でバラツキが見られる。

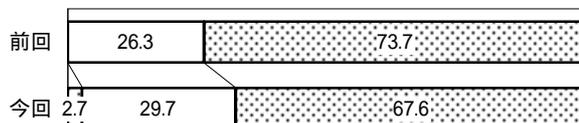
(5) 採算状況について



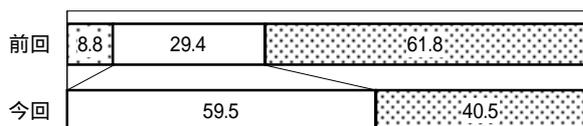
鉄鋼・非鉄



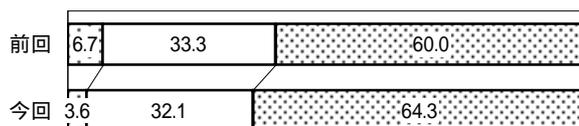
金属製品



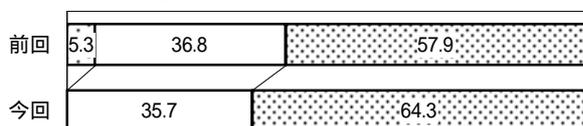
一般機器



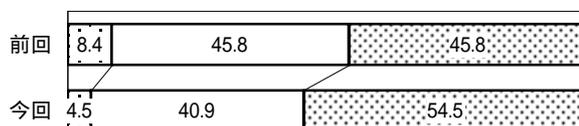
電気機器



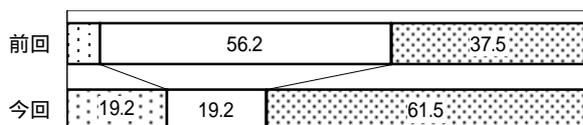
輸送用機器



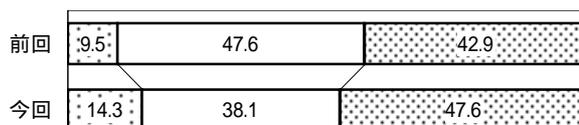
精密機器



縫製



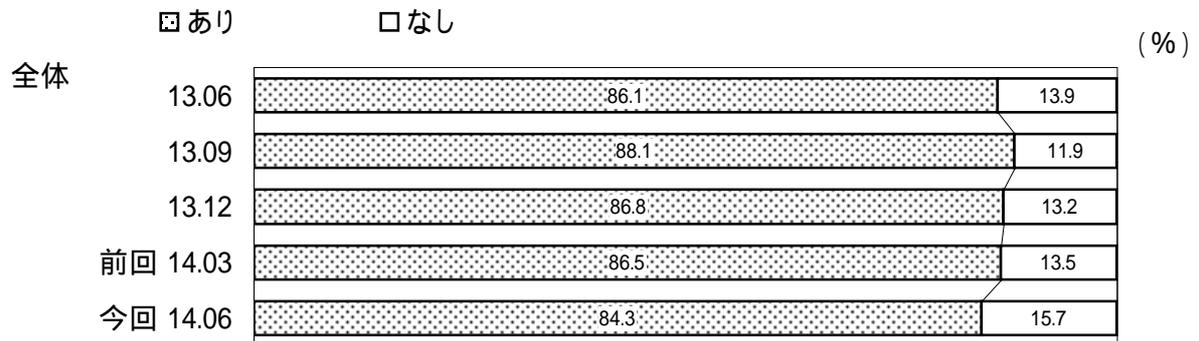
樹脂製品



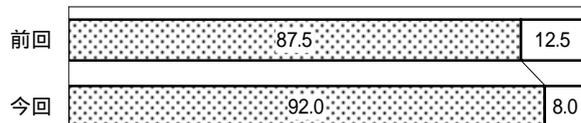
・全体では、前回調査に比べてほとんど変化はみられず、依然として厳しい状況が続いている。

・業種別では、鉄鋼・非鉄、金属製品、縫製、樹脂製品で「黒字」が増加しているが、一方で、一般機器、電気機器、輸送用機器、精密機器で「黒字」が減少している。また、鉄鋼・非鉄、縫製、樹脂製品では、「黒字」、「赤字」ともに増加するなど、業種間格差に加え、同一業種内での格差もうかがえる。

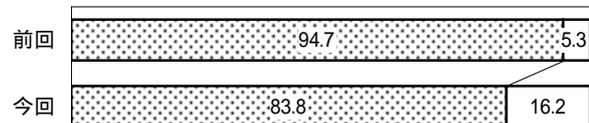
(6) 受注余力について



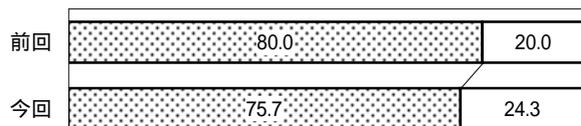
鉄鋼・非鉄



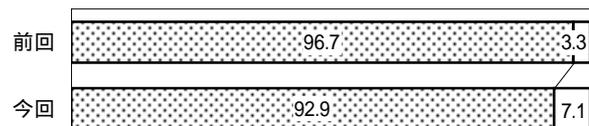
金属製品



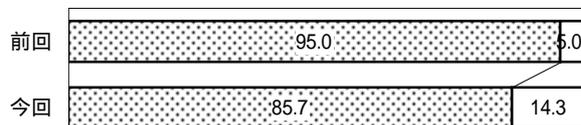
一般機器



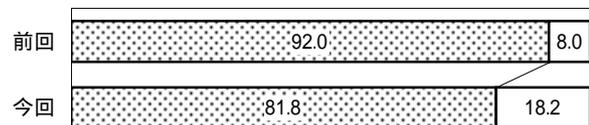
電気機器



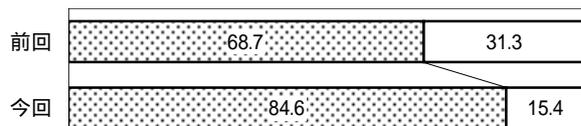
輸送用機器



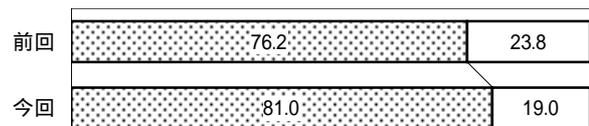
精密機器



縫製



樹脂製品



・全体では、受注余力「あり」とする企業が前回調査に比べて2.2ポイント減少しているものの、84.3%と大半の企業で受注余力を残しており、依然として十分な受注量は確保されていないことがわかる。

・業種別で見ても、大きな違いは見られず、金属製品、一般機器、電気機器、輸送用機器、精密機器で受注余力「なし」とする企業が増加しているが、鉄鋼・非鉄、電気機器では9割以上が、余力「あり」と回答している。

平成14年度第1回受注登録企業動向調査票

下記の質問について該当する項目に1つだけ 印を付けてください。また、()付の項目の場合は()に具体的な数字を記入してください。

(回答は平成14年1～3月期と比べた状況をお願いします。)

1. 受注量について(14年4月～6月)
増加(21%以上) やや増加(6～20%) 不変(±5%) やや減少(6～20%) 減少(21%以上)
2. 受注量の見通し(3ヶ月先くらい)
増加(%) 不変 減少(%)
3. 受注単価について
上昇(%) 不変 低下(%)
4. 資金繰りについて
好転 不変 悪化
5. 採算状況について
黒字 収支トントン 赤字
6. 受注余力について
余力ある 余力ない

あっせんを希望される方は産業振興部企業振興課まで御連絡ください。(.075-315-8590)

————— 御協力ありがとうございました —————

財団法人 京都産業21

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町 134 (京都府産業プラザ内)

TEL (075) 315 - 9234 FAX (075) 314 - 4270

E mail: kikaku@ki21.jp

URL : <http://www.ki21.jp>